

平成28年度

# 東京都商店街 実態調査報告書

概要版



# I 調査の概要

## (1) 調査の目的

都内商店街の景況や活動状況、直面している課題などの現状を的確に把握し、今後の商店街振興施策の基礎資料とすることを目的とする。なお、本調査は平成元年度から、3年ごとに実施している。(前回調査：平成25年度)

## (2) 調査対象

東京都内の全商店街 (2,535 商店街、平成 28 年 6 月現在)

## (3) 調査時期

平成 28 年 11 月～平成 29 年 2 月

## (4) 調査の項目

アンケート調査票の主要設問項目 (質問順)

- |                           |                       |
|---------------------------|-----------------------|
| ①基本属性 (フェイスシート)           | ⑨商店街の空き店舗             |
| ②商店街の概要                   | ⑩商店街における集客力           |
| ③商店街への個店の加入状況、他団体への加入状況   | ⑪商店街の各個店に対する経営力向上等の取組 |
| ④商店街の業種構成                 | ⑫商店街の活動               |
| ⑤商店街の景況                   | ⑬商店街のイベント事業           |
| ⑥商店街が抱えている主な問題点           | ⑭商店街の施設整備等            |
| ⑦商店街の後継者不足対策への取組み         | ⑮地域との連携               |
| ⑧商店街の商圈と大型店 (大規模小売店舗) の影響 | ⑯商店街の活性化に向けた今後の取組     |
|                           | ⑰都の補助事業の利用            |

## (5) 調査及び集計・分析方法

郵送による調査票の配布及び回収

## (6) 回収結果

- |               |                |
|---------------|----------------|
| ○商店街数：2,535 件 | ○有効発送数：2,327 件 |
| ○回収数：1,633 件  | ○回収率：70.2%     |

### 3 商店街が抱えている問題

#### (1) 商店街が抱えている問題

##### ○商店街の課題は「後継者不足」

－課題についてたずねたところ、最も多いのは前回調査と同様に「後継者が不足している」（65.9%）でその割合も上昇しています。このように後継者不足は引き続き、重大な問題となっています。また、「商店街の業種構成に不足がある」、「商店街活動が活発でない」、「来街者の高齢化への対応が遅れている」と回答した商店街の割合が増加しています。

商店街の抱えている問題（複数回答）

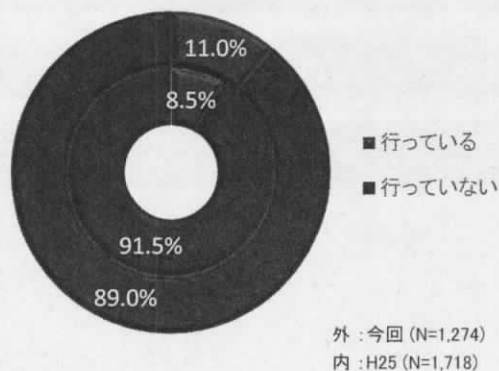


#### (2) 後継者不足対策

##### ○後継者不足対策の実施商店街比率は、低いながらも上昇

－後継者対策として何らかの取り組みを行っているかどうかたずねたところ、「行っている」は 11.0%でした。若干ですが、実施率は上昇しました。

後継者不足対策への取り組み状況

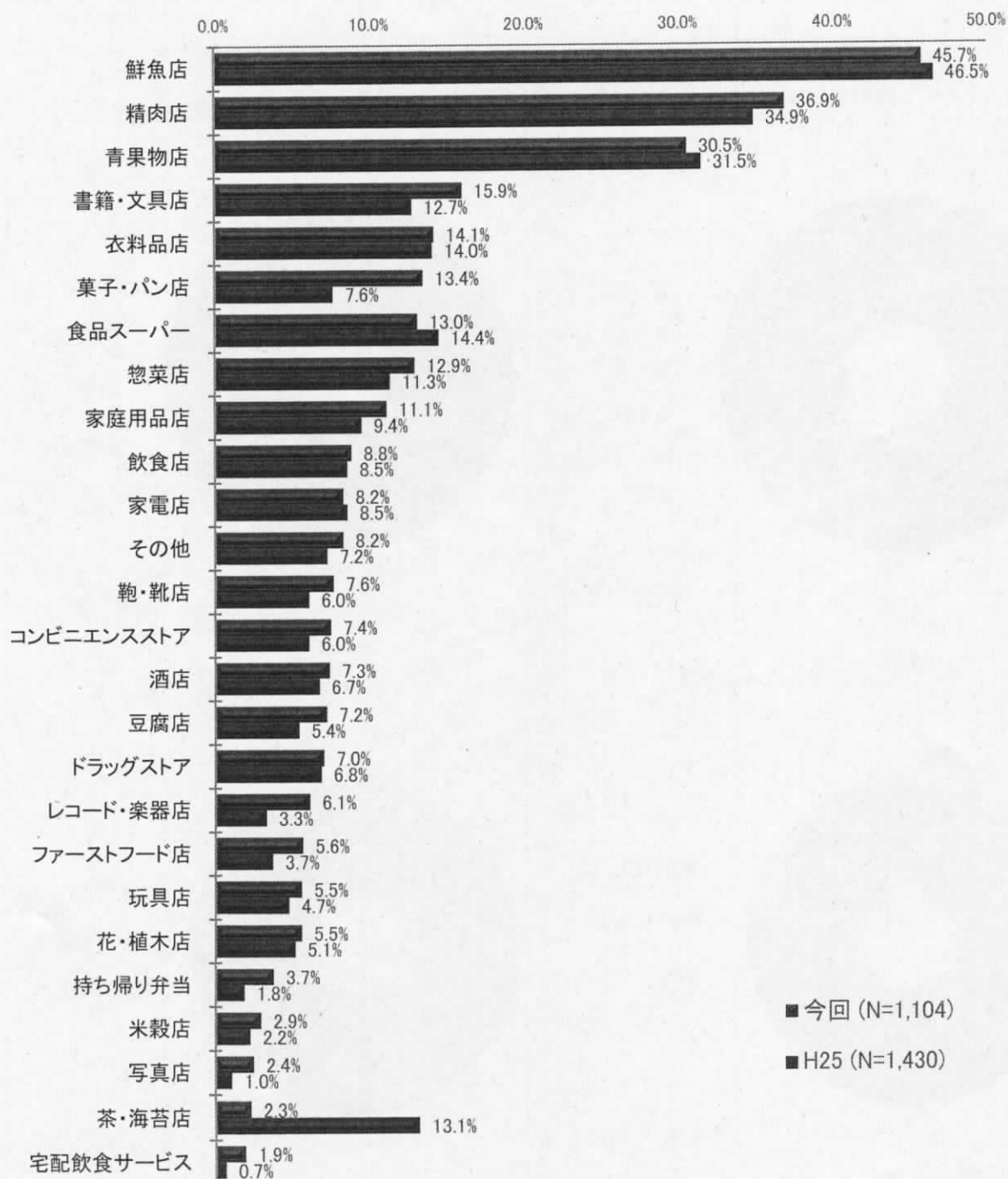


### (3) 商店街で不足している業種

#### ○生鮮3品が不足している

－商店街で不足していると回答のあった業種は「鮮魚店」、「精肉店」、「青果物」の生鮮3品が上位となっています。次いで、「書籍・文具店」、「衣料品店」、「菓子・パン店」などの業種が多くなっています。

不足している主な業種

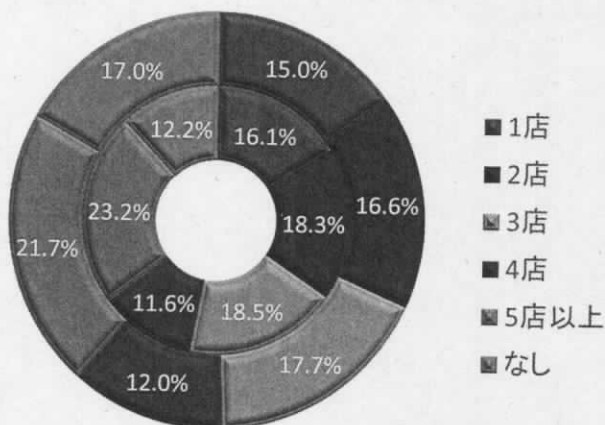


#### (4) 商圏内の大型店の立地

##### ○約8割の商店街で、商圏内に大型店が存在

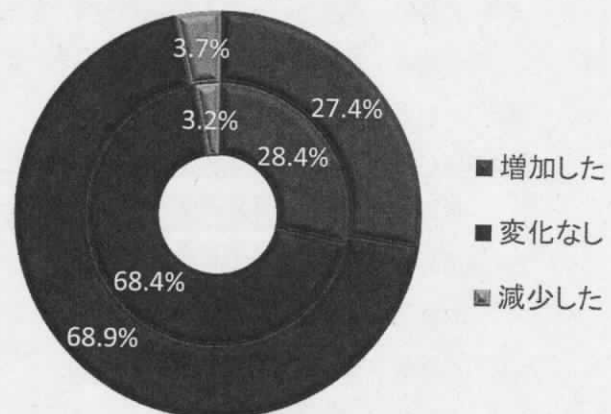
— 商圏内に大型店が存在している商店街は約8割を占め、「5店以上」が21.7%と最も多くなっています。また、大型店が「増加した」と回答した割合は27.4%であり、「減少した」の3.7%を大きく上回っています。大型店による影響として、来街者が減少したとの回答は40.1%、売上が減少したとの回答は47.6%でした。

商圏内の大型店数



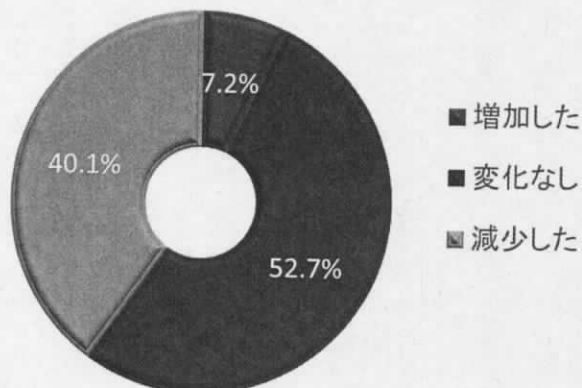
外：今回 (N=1,274)  
内：H25 (N=1,718)

商圏内の大型店数の増減



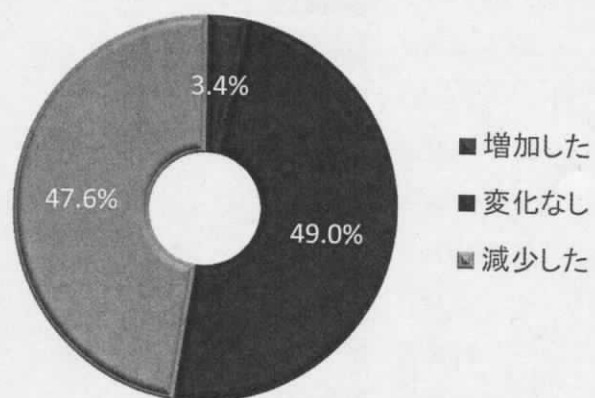
外：今回 (N=1,270)  
内：H25 (N=1,630)

大型店の来街者数への影響



今回 (N=1,184)

大型店の売上への影響

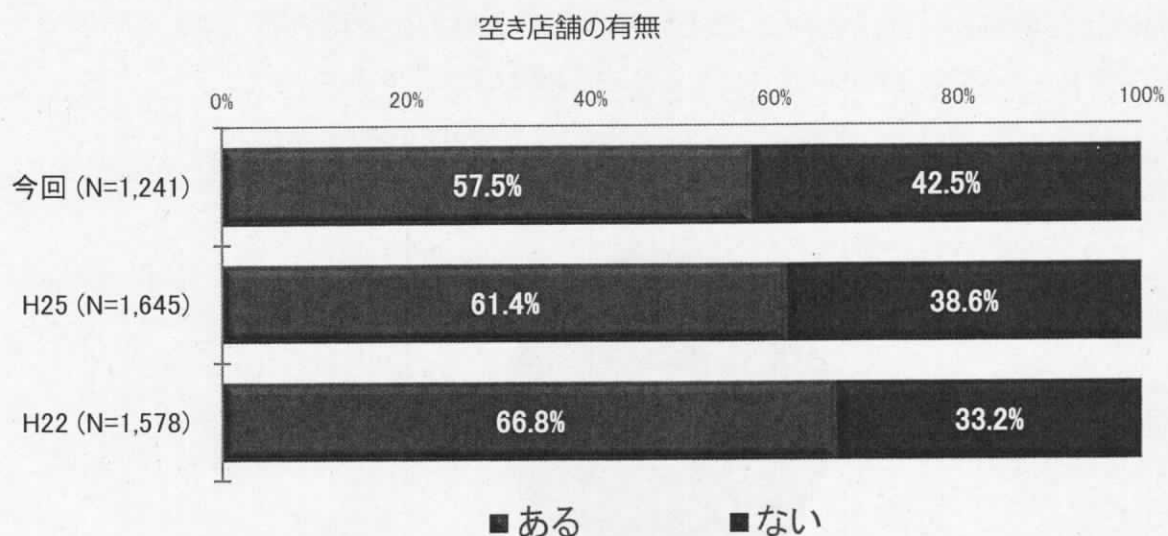


今回 (N=1,159)

## (5) 商圈内の空き店舗

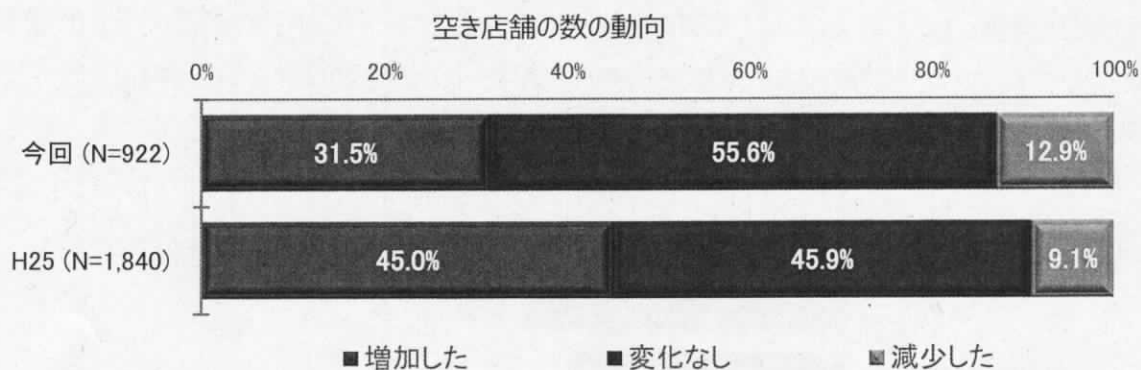
### ○空き店舗がある商店街は5割以上

– 空き店舗が「ある」と回答した商店街は57.5%であり、過去2回の調査に比べて空き店舗がある商店街の割合はやや減少しています。



### ○空き店舗の数が増加した商店街の割合は若干減少

– 空き店舗数については、「増加した」割合は31.5%となっており、前回に比べて減少しています。「減少した」割合は12.9%で前回調査に比べて増加しています。





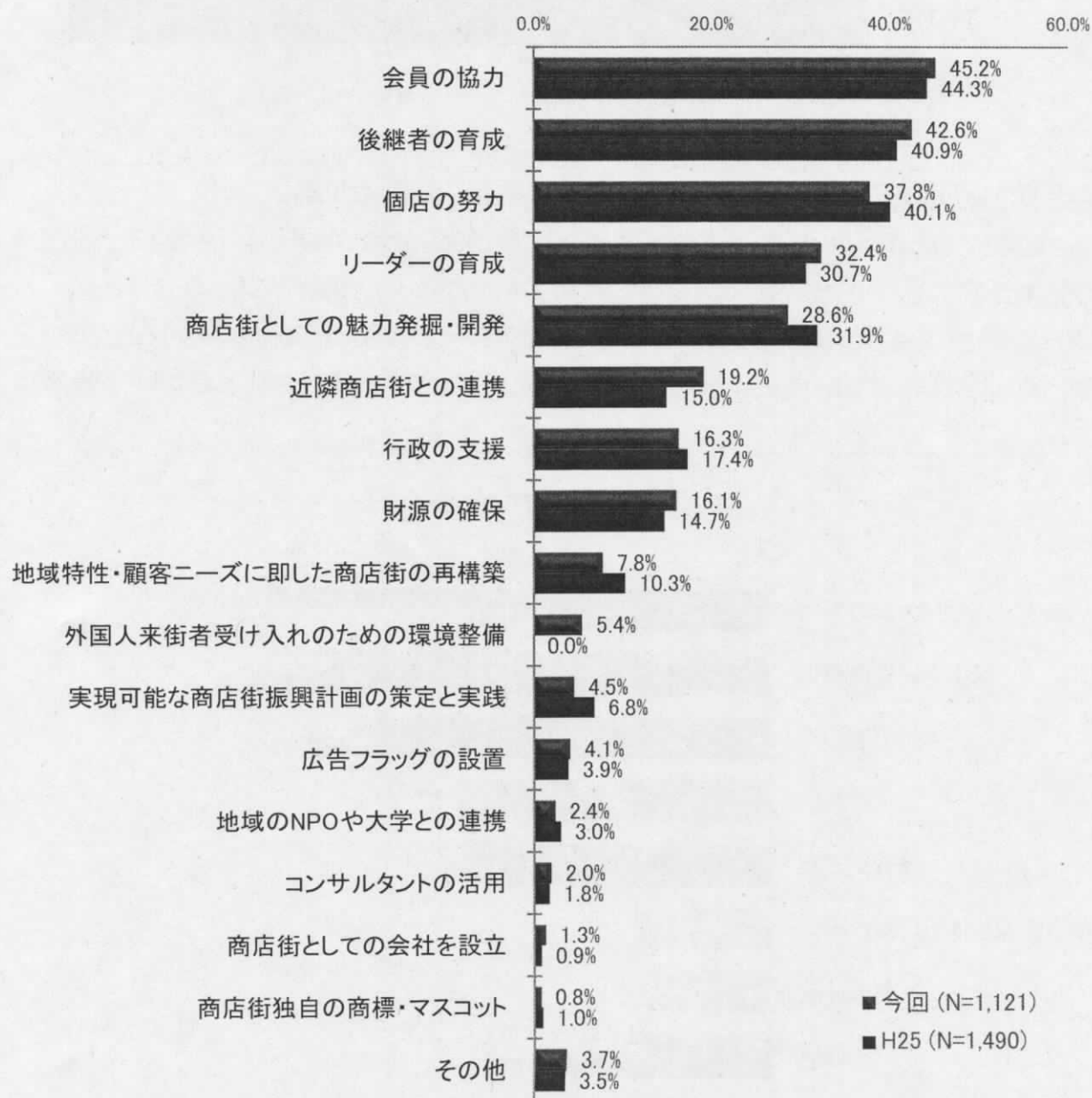
## 5 商店街の今後の展開

### (1) 商店街活性化に必要なこと

○商店街活性化のためには「会員の協力」、「後継者の育成」、「個店の努力」、「リーダーの育成」が必要

－商店街の活性化に必要なことについて伺ったところ「会員の協力」、「後継者の育成」、「リーダーの育成」といった商店街としての取組のほか、「個店の努力」といった回答が多くなっています。

商店街が活性化に向けて必要と考えること



## (2) 都の補助事業の利用状況

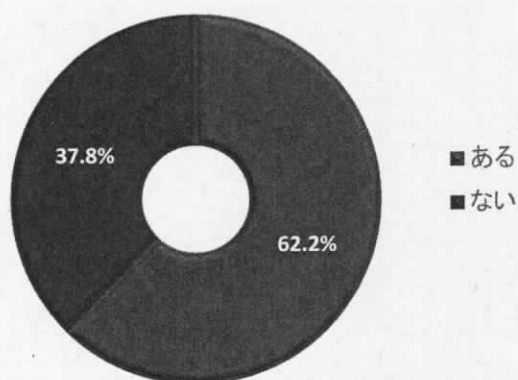
○ 6割以上の商店街が新・元気を出せ！商店街を利用したことがある

－新・元気を出せ！商店街事業を利用したことがある商店街は6割程度となっています。

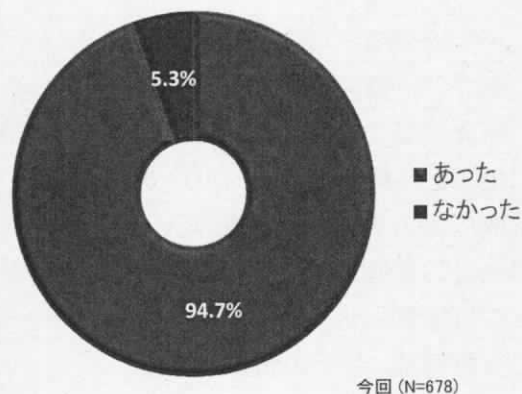
○ 9割以上が新・元気を出せ！商店街利用に成果ありと回答

－新・元気を出せ！商店街事業を利用した商店街のうち、成果があったとの回答は94.7%でした。

新・元気を出せ！商店街事業利用の有無



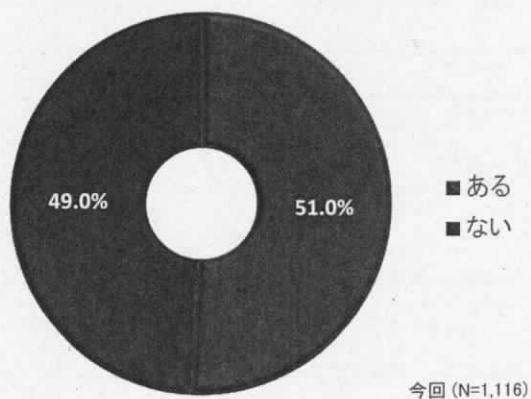
新・元気を出せ！商店街事業を利用した成果の有無



○ 過半数の商店街が、東京都の補助事業により、街路灯のLED化等事業を実施している

－東京都の補助事業（東京都特定施策推進型商店街事業/東京都環境・防災対応型商店街活性化事業）を利用して街路灯のLED化等事業を実施したことがある商店街は5割程度でした。

街路灯のLED化等事業の実施有無





### (3) 今後、商店街活性化のために積極的に取り組んでいきたい事業

○今後取り組んでいきたい事業は「イベント事業の充実」が最も多い

－商店街活性化のために積極的に取り組んでいきたい事業内容に関する自由記入の質問に対し、以下のよ  
うな回答が得られました。「イベント事業の充実」が109件で最も多くなっています。次いで、「街づくり、再開  
発事業との連携」、「観光資源の活用、特徴のアピール、外国人客の集客」、「地域との共同、大学・N P  
Oとの連携」、「ICTの活用、ホームページの活用・Wi-Fi」の回答が多くなっています。

今後取り組んでいきたい主な事業

	回答数	構成比(%)
イベント事業の充実	109	23.3%
街づくり、再開発事業との連携	29	6.2%
観光資源の活用、特徴のアピール、外国人客の集客	28	6.0%
地域との共同、大学・NPOとの連携	24	5.1%
商店街の美化、雰囲気づくり	24	5.1%
会員の親睦、会員へのサービス、商店街組織の強化	23	4.9%
ICT(情報通信技術)の活用、ホームページの活用、Wi-Fi	22	4.7%
後継育成、若手の育成・活用	18	3.9%
街路灯の整備・LED化	17	3.6%
安心・安全のまちづくり	17	3.6%
会員店舗の拡大	16	3.4%
防犯カメラの設置	15	3.2%
近隣商店街との連携	13	2.8%
宣伝・広報・情報発信	12	2.6%
個店の努力	12	2.6%
商店街のインフラ整備	12	2.6%
魅力ある店舗の導入	10	2.1%
道路・歩道整備	7	1.5%
空き店舗の活用	6	1.3%
高齢者にやさしい街	5	1.1%
販促活動、買物券、ポイントカード	5	1.1%
商店街マップの作成	3	0.6%
地域への社会貢献	3	0.6%
配達・送迎サービス	2	0.4%
駐車場・駐輪場の整備	2	0.4%
エコ・環境対応	0	0.0%
その他	33	7.1%
<b>総計</b>	<b>467</b>	<b>100.0%</b>

※主な回答のみを集計

登録番号

(28) 87

平成28年度 東京都商店街実態調査報告書  
概要版

平成29年3月発行

発行 東京都産業労働局商工部地域産業振興課  
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03(5321)1111 内線 36-731~6

調査実施 株式会社リベルタス・コンサルティング  
東京都千代田区六番町2番地14  
電話 03(3511)2161